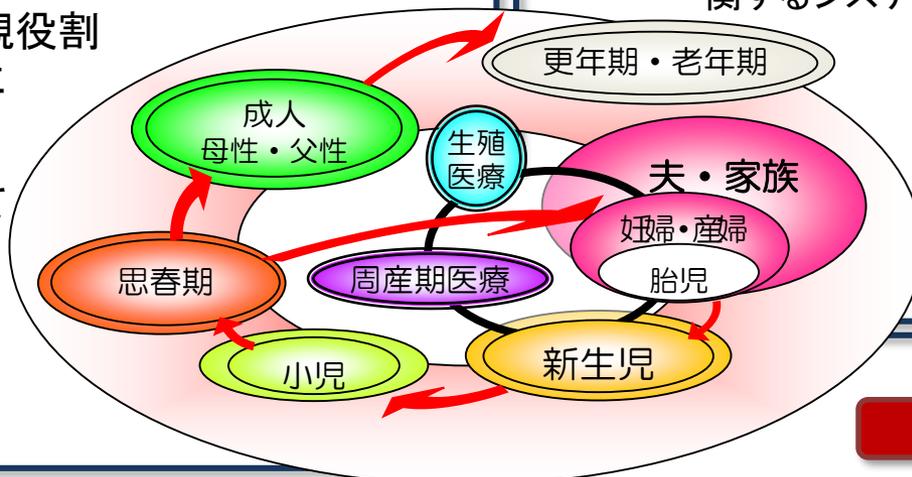


指導教員 准教授 前原 邦江

研究テーマ

- ・生殖医療後の夫婦の親役割への適応を促す看護に関する研究
- ・高年初産婦への子育て支援に関する研究
- ・母性看護の実践知に関する研究



教員が取り組んでいる研究（例）

- ・生殖補助医療後の夫婦の親役割への移行に関するシステマティックレビュー
- ・助産ケアのシミュレーション教育に関する研究
- ・第2子誕生を迎える夫婦への子育て支援に関する研究

博士前期課程では・・・

研究手法

- ・調査研究－質問紙調査、統計学的分析など
- ・質的研究－インタビュー、質的分析など

- ゼミでは、国内外の研究論文のクリティーク（批判的吟味）を行います。英文の原著論文の読解力が必要です。
- 博士前期課程1年目に研究課題を明確化し研究計画を立案、2年目にデータ収集から修論完成まで、各自の学修計画に基づいて進めます。



リプロダクティブヘルス看護学領域 これまでの修士論文題目・博士論文題目(一部)

【修士論文題目】(2016年度以降)

- ・オンライン面会におけるNICU・GCU児とその親に対するボンディング形成に向けての看護実践
- ・分娩介助シミュレーション教育における教員のデブリーフィングの経験
- ・生後4か月までの双子の親の子育てにおけるソーシャル・サポート体験
- ・妊娠期にバースプランを作成して出産をした女性の経験
- ・妊婦の日常生活における身体活動の体験
- ・産後ケア施設を利用した母親の睡眠・疲労・うつ症状の変化

【博士論文題目】(2011年度以降)

- ・Problematic Breastfeeder とその母親への看護介入プログラムの開発ー母子相互作用の促進と母乳哺育経験への満足感の獲得をめざしてー
- ・セミオープンシステムを利用する初産婦の出産準備への主体性を高める看護介入
- ・在日中国人女性に対する産後うつ症状の予防的看護介入プログラムの開発・検証

※令和6年度、博士前期課程の新入生の論文指導は、准教授 前原邦江が担当します。

